

I. BDI推移

Highest:2008年5月(10,844) Lowest:2016年2月(307)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2001年	1,566	1,479	1,502	1,440	1,448	1,377	1,221	980	945	898	855	870
2002年	931	960	1,065	1,077	1,033	995	989	1,002	1,182	1,365	1,460	1,666
2003年	1,694	1,674	1,850	2,064	2,231	2,136	2,192	2,286	2,463	4,163	4,250	4,609
2004年	5,229	5,450	5,131	4,489	3,596	2,902	3,778	4,169	4,141	4,539	5,309	5,519
2005年	4,502	4,532	4,678	4,532	3,667	2,746	2,220	2,203	2,803	3,161	2,916	2,600
2006年	2,262	2,444	2,599	2,465	2,442	2,718	3,050	3,687	4,039	4,028	4,190	4,336
2007年	4,462	4,398	5,123	5,754	6,402	5,772	6,572	7,195	8,586	10,426	10,543	9,854
2008年	7,170	6,874	8,063	8,287	10,844	10,245	8,936	7,403	4,975	1,808	819	743
2009年	905	1,816	1,958	1,659	2,540	3,823	3,362	2,685	2,351	2,746	3,941	3,572
2010年	3,168	2,678	3,207	3,043	3,838	3,088	1,910	2,432	2,719	2,693	2,321	2,031
2011年	1,401	1,181	1,493	1,343	1,352	1,433	1,366	1,387	1,840	2,072	1,835	1,869
2012年	1,039	703	859	1,021	1,101	937	1,056	761	707	952	1,025	856
2013年	771	745	876	874	851	941	1,123	1,088	1,681	1,883	1,559	2,178
2014年	1,472	1,140	1,484	1,045	991	912	796	937	1,123	1,101	1,332	910
2015年	725	539	576	591	597	699	975	1,066	889	793	582	519
2016年	386	307	383	607	620	608	707	673	828	868	1,072	1,050
2017年	907	759	1,141	1,222	973	860	906	1,142	1,364	1,484	1,454	1,619
2018年	1,242	1,125	1,154	1,129	1,293	1,352	1,650	1,710	1,447	1,545	1,192	1,335
2019年	1,063	629	680	773	1,036	1,174	1,870	1,982	2,255	1,826	1,419	1,381
2020年	701	461	601	664	489	1,146	1,633	1,516	1,411	1,631	1,180	1,244
2021年	1,658	1,500	2,018	2,475	2,965	2,932	3,188	3,720	4,288	4,820	2,780	2,832
2022年	1,761	1,835	2,464	2,220	2,943	2,389	2,077	1,412	1,487	1,814	1,299	1,453
2023年	909	658	1,410	1,480	1,416	1,082	1,040	1,150	1,393	1,868	1,831	2,538
2024年	1,617	1,650	2,233	1,731	1,895							

(データ) Clarksons ※1985年1月4日を1,000として算出

II. BDIの説明

- (1) BDI(Baltic Dry Index)は、ロンドンにあるThe Baltic Exchangeが発表している外航ばら積み船の運賃指数で、ドライバルク部門の傭船料と海上運賃の総合指数。
- (2) BDIは、Capesize、Panamax、Supramaxの3つの異なる船種の運賃指数から算出されている。
- (3) The Baltic Exchangeは、世界の有力海運ブローカーをパネリストとして指名し、パネリストから収集した成約情報(船舶明細、契約条件、仲介手数料、揚げ条件、貨物サイズなど)をもとに、独自の基準で評価替えした上で、指数を計算し、毎営業日のロンドン時間13:00に発表している。なお、日本からは山水海運がパネリストとして指名されている。
- (4) BDIの算出方法：2018年3月1日以降

$$((\text{CapesizeTCavg} \times 0.4) + (\text{PanamaxTCavg} \times 0.3) + (\text{SupramaxTCavg} \times 0.3)) \times 0.10$$

$$\text{TCavg} = \text{Time charter average}$$

Important Notice!

当資料は現時点において入手可能なデータをもとに作成しております。日本海事センター企画研究部は掲載内容が正確であるよう最善を尽くしておりますが、内容について責任を負うものではありません。なお、予告なしに掲載内容が変更または廃止される場合があります。あらかじめご了承ください。

また、当資料の著作権は日本海事センター企画研究部が有します。日本海事センター企画研究部が作成・配布・アップロードした資料や図表・文章を引用・転載する際は、「日本海事センター企画研究部作成」という旨のクレジットを記載されるようお願いいたします。